

林 業

本県の林野はこれを大別すると、平地林と丘陵山地林とに分けられ、東葛、印旛、香取の各郡を含む北総は、丘陵或は平垣地にして平地林の性格をもち、君津、安房、夷隅郡の南総は丘陵山地林で地形は比較的急峻で本県森林の主要地帯を形成している。

又、本県の南及び東西の三面は海をめぐらすが故に気候概ね温和であつて、ことに沿岸部は海洋性気候の恩恵に浴し寒暑に偏せず、北西部は寒暑の変化稍峻烈である。したがつて、本県の森林は植物帯上、暖帯北部に位置し（平均気温15度）マツ、スギ、カシ類、シイ類、クヌギ、ナラ、ツバキ、クス等を主要樹種としているが、これ等の林況をみると針葉樹林が過半数を占めて57%、広葉樹が36%占めている。

本県の林野面積は、174,127町歩で、県面積の34.4%に当り、全国の66.4%の半分に過ぎない。

山林面積は158,042町歩で、このうち国有林が7%、公有林が3%、民有林が90%となつており、殆んどが農家の所有に属し、しかも、営農林或は農用林として存在しているものが大部分である。従つて、所有は極度に細分化され、専門的林業家が少い。

林産物の生産も、素材が昭和31年には49万石に過ぎないが、特筆すべきものは、安房、夷隅、市原郡から産する竹材が、年間63万束を数え、全国第4位を占めている。